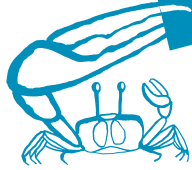


おかげさまで7周年

SAREN



リニユーアル
第1号!

No.4

2017

夏

SAREN 通信



【発行・編集】

NPO法人

自然環境ネットワーク

SAREN

※SAREN《砂漣》とは…

砂が海底に作る波形の模様のこと。この素晴らしい自然環境をいつまでも受け継ぎ、守り続けたいという願いを込めています。



第1回

「瀬戸内海の瀬戸・海峡・水道」を訪ねて



「瀬戸」を訪ねる新連載、始まります

瀬戸内海各地には、瀬戸と名がつく海域が70余り、海峡が7ヶ所、水道が10ヶ所ほどあります。このほかにも、地元で呼ばれている名称をあげれば、もっと多くなります。この連載では、両側から陸地が迫った海峡（瀬戸）を紹介していければと思います。（景観写真家 脇山 功）



「御幸瀬戸」

尾道市向島～向島町岩子島にかけての、長さ1,300m、幅150m余りの瀬戸。この瀬戸に架かる「向島大橋」は、昭和43年に完成した日本で最初の海を渡る「農道橋」です。

設立から7年

理事長
脇山 功



「またたく間に過ぎた7年。
何よりも人との繋がりが大事だと、
今、改めて感じています」

昭和の終わり頃に、来島海峡周辺の体験航海があり、懇親会の時に「瀬戸内海の自然・人文景観」の情報誌を創ろうと言い始めた人がいました。その後すぐに研究会を設立して「せとうち風光」を出版しました。

その研究会を母体とし、もっと効率的に活動がしやすい組織にしようと2010年にNPO法人の認可を申請、2010年11月に承認され登記しました。

当初から、広島湾周辺の海ゴミの調査・回収や、瀬戸内海周辺の古い資料の収集をして、次の世代へ引き継ぐ活動を実施しました。それらは上手くいった活動もあるし、思うようにはいかない活動もありました。

活動計画やら助成金の獲得に向けての思案で、7年間はまたたく間に過ぎてしまいました。その間に、些細な出来事で人との繋がりが切れてしまったことなど、反省しなければならない点も多々あります。

主な活動目標として「自然環境の保全」を掲げていますが、活動を続けるには、何よりも人との繋がりが大事だと、今改めて感じています。



宮島クリーン作戦（宮島南部の漂着ゴミ回収）2012年6月10日実施
115名参加、回収ゴミ1,150kg（10トン車2台、4トン車1台）

平成 29 年度定期総会

- 日時：8月5日（土）15:00～
- 場所：幟町集会所 2 階 A 会議室
- 出席者：10 名

- 第 1 号議案 平成 28 年度事業報告書
 - 第 2 号議案 貸借対照表（平成 29 年 5 月 31 日現在）
財産目録（平成 29 年 5 月 31 日現在）
活動計算書（自 平成 28 年 6 月 1 日
至 平成 29 年 5 月 31 日）
計算書類注記
予算実績対比表（自 平成 28 年 6 月 1 日
至 平成 29 年 5 月 31 日）
監査報告書
 - 第 3 号議案 平成 29 年度事業計画（案）
 - 第 4 号議案 平成 29 年度活動予算（案）
 - 第 5 号議案 年会費改定の件
 - 第 6 号議案 役員増員の件
- いずれの議案も可決されました。詳細は事務局まで。



総会は選任された脇山議長の進行により、滞りなく終了しました。総会後の意見交換会では、農業体験やエコツアーなどさまざまなアイデアが出ました

広げよう、会員の輪！

新 会 員 紹 介

はじめまして。米山俊哉です。広島は、旧佐伯郡五日市町石内出身の、今で言う里山育ちですが、それもかなりのど真ん中の里山であります。例えば、僕の少年時代だった昭和 30 年代・40 年代の田舎は、どこもそんなもんだったと思いますが、たいしたオモチャもなく、ほとんど自分で“開発”して遊んだもんです。中でも竹はとくに重宝いたしまして、弓矢・スキー板・釣竿・じんたん（？）鉄砲などを古老の手ほどきを受けつつ「独自開発」し、自然を相手に目一杯遊んでるうちに日が暮れて寝て、すると、また朝になるという日々の繰り返しでありました。

というわけで、我ら少年時代に比べて、今の子どもは IT

「モノ」より「コト」

さまざまな体験ができる場、
楽しみの場を作りたい。

小豆を作ってみてはどうか？
瀬戸内海の畑で作る付加価値を
付けたら売れそう。

意見交換会では

竹を燃料に塩を作って、
それを使った梅干しを
漬けてみたい。

JR 瀬野駅近くの果樹園で
農業休業中。サレンでも
この経験が活用できれば。

総会には新会員の米山俊哉さんも出席、理事に就任されました。これからよろしくお願いします！

機器とかゲーム機には親しんでるけど、海や山の面白さや怖さを知らないんで、短絡的にいえば、やがて海も山も汚れて行き、住みづらくなる。そして、ますます海辺で遊ぶ子どもらの姿が見えにくい地域社会が生れていくかなと思う次第であります。

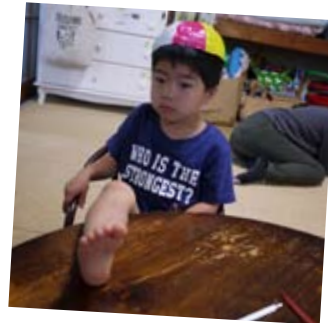
そこで、やや独りよがりの発言をさせてもらえば、「ど里山」で育った経験が SAREN で少しは役に立てないかと思い、参加させていただくことになりました。こんなんですが、みなさま、どうぞよろしくお願いいたします。





プロカメラマン・
脇山さんに見てもらおう!!
わたしの撮っておき!

今回の投稿者：Y野U子



脇山さんより/ヤンチャな子どもに対して、家族が愛情たっぷりの目線で写した写真だと感じます。上のネットを被った写真などは、もう少し離れて撮影すればもっと良くなりますよ!



- ◆5年ぶりのサレン通信、いかがだったでしょうか?これからはとりあえず年4回~1回?を目標に発行していく予定です。制作の楽しさを満喫します!(Y野U子)
- ◆ゴミを拾ってアート作品を作った7年。瀬戸内で暮らす面白い人たちに会えた時間が一番の宝物です。(安友)
- ◆祝7周年!何事も続けることが一番難しいのかもしれませんがね。とりあえずマイ弁当を続けます♪(タカイハルミ)

表紙の写真「夏の雲」

【撮影地：広島市南区元宇品】
広島湾奥の海田上空にかかる入道雲を見ていると、夏の日差しで気流がぐんぐん上昇して雲が湧きあがっている。なんだか雄大な気持ちになってくる。(脇山)

会 員 募 集 の お 知 ら せ

自然環境ネットワーク SAREN は、「瀬戸内海の素晴らしい自然環境を次世代へ引き継いでいくこと」を目的に設立された NPO 法人です。中国・四国地方を中心に、自然や歴史、文化などに直接触れ合える機会づくりや地域の保全活動を行っています。私たちの活動に賛同していただける方を随時募集中。気軽にお問い合わせください。

投稿・写真もお待ちしています!

会員の皆さまからの原稿や写真を募集しています。近況報告をしたり、プロのカメラマンに写真のアドバイスをもらったり。気軽に参加できる交流の場にしたいと考えています。投稿は事務局までメールでお願いします。

【会費】

- 正会員 (個人) 年会費 2,000 円
- 正会員 (団体) 年会費 10,000 円

【申込方法】

右記事務局までメールまたは電話でご連絡ください。

【発行・編集】

NPO法人
自然環境ネットワーク SAREN

〒730-0825
広島市中区光南2丁目2-6
TEL 082-542-5380 FAX 082-542-5381
E-mail : wit@proof.ocn.ne.jp

